

審議会等の会議結果報告書

【担当課】子ども課

会議の名称	第2回茅野市子ども・家庭応援会議		
開催日時	令和4年11月28日(月) 午後7時00分～午後8時15分		
開催場所	茅野市役所 議会棟 大会議室		
出席者(名簿順)	<p>【委員出席】 戸川榮司委員、岩下ふみ子委員、伊藤あや子委員、大作公明委員、小坂秀王委員、北澤いずみ委員、木村香穂里委員、名取哲男委員、市川八史委員(代理)、加藤昌志委員、宮坂雅昭委員、勅使川原はすみ委員、古畑祐二委員、竹村清子委員、味澤広明委員</p> <p>【市側出席】 山田教育長、五味子ども部長、依田健康福祉部長、守屋地域福祉課長、阿部子ども課長、柳澤幼児教育課長、五味学校教育課長、長田生活福祉係長、両角子ども・家庭支援係長、白鳥子ども・家庭相談係長 宮下子ども係長、飯島子ども係子ども育成担当、高橋子ども係主査</p>		
欠席者(委員のみ)	市川純章、両角薫、渡辺修、原田正樹、宮原渉		
公開・非公開の別	公開	傍観者の数	なし
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局	<p>1 開会 2 教育長あいさつ(教育長他の公務のため到着次第あいさつの旨説明)</p>		
子ども課長	<p>3 会議事項 (1)審議会等の会議の公開の確認 茅野市審議会等の公開に関する要綱にのっとり、本日開催の子ども・家庭応援会議について、公開の対象となる旨を説明した。</p> <p>会議の公開について委員の承認を諮ったところ、全員異議なく承認した。</p>		
子ども課長	<p>(2)茅野市子ども・家庭の豊かな未来づくり推進計画について 資料1,2に基づき、茅野市子ども・家庭の豊かな未来づくり推進計画について、前回素案からの修正・追加箇所の説明及び今後のスケジュールの説明をした。</p> <p>それでは、子ども・家庭の豊かな未来づくり推進計画修正後の説明、またスケジュールについて説明をさせていただきましたが、何かご意見ご質問等あれば、よろしくお願いいたします。</p>		
委員	<p>お願いいたします。35ページ36ページのあたりの基本方針2:子どもとその家庭への支援の中で、先ほど話した拡充や新規というのが出ていますが、(1)教育の支援:事業2の新規事業ということで、放課後子供教室の実施に向けた検討。これは最後の方に、「実施に向けた検討を行う」ということで、その次、(2)生活の支援:事業18の、36ページ。親支援推進事業に対しては、「体験の場を提供する」ということで、38ページの(3)保護者の就労支援の方は、確実にそういうものを、今回の中では作って行っていくということによって、事業2番の方は行うかどうかを含めて、実施に向けて、「今の段階では検討を行うだ</p>		

<p>こども課長</p>	<p>けにとどめておこう」という計画でいいですか。</p> <p>それでは34ページの事業2:放課後子供教室の実施に向けた検討ということ。こちら、こども課で新規事業として、委員さんのおっしゃる通りに、この計画に位置付けを行いまして、前向きに検討してまいりたいと考えております。その内容につきましては、今後、どこの場所で行うのか、どういった内容で行うのかということ、具体的に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>その他、36ページの事業18:親支援推進事業。こちら新規ということで、検討しているところです。実際に、今考えていることでございますが、例えば、親と子どもさんが一緒に何かを作って、それをお弁当にして、その日の食事にして持ち帰っていただく。やはり最近、どうしても、実際に来て欲しい方に、なかなかいろいろな支援策や事業に来ていただけないことがあるので、やはり、親子で、実際に食事作りとか、そういう体験をしていただいて。子どもも、そういったことを経験して自分でも自立していく。親御さんにとっては、子どもさんとういった楽しい経験をすることによって今後、家に帰っても、お子さんと一緒に食事作りなどをしていくという願いを込めまして、こちら新規事業ということで、来年度から具体的に試行的に取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。言いたかったことは、新規事業として18番はきちんと行って、今回ここで行っていくということ、2番の事業は検討を行うということで、時間軸というかスケジュール的に、「これを実施に向けるのはいつか」という。そこを今知りたかったという。このままですと、よくある計画の「検討する」で終わってしまうので、ここに「いつ、何年からの実施を目指す」など、そういうものがあればすごくいいと。</p>
<p>こども課長</p>	<p>ありがとうございます。また、そういったところも、今回ご意見いただきましたので持ち帰って、具体的な目指す目標値ということで入れていきたいと考えます。ありがとうございました。</p> <p>他に何かありますか。お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>随分いろいろ手直しされてありがとうございました。主任児童委員会で、今回、この前回の内容につきまして、意見を募りました。その中で三つほど要望がありますのでお伝えしたいと思います。</p> <p>まず一つは、34ページから37ページあたりのところの話です。</p> <p>まず1点は(1)教育の支援のところ。事業2の放課後子供教室とか事業11の遠距離児童・生徒通学支援事業に関することです。その要望の一つは、遠距離通学に対する支援。事業11を見ますと市内小中学校ということですから小中学生が対象ということで。高校生に関して、そこら辺のところはまだ考慮されていないようです。高校生の場合に例えば、バス通学で遠いところは月に万単位で、通学費がかかることになると聞いています。そういったことが、何とか配慮できないものかということがまず1点です。通学費の支援ですね。</p> <p>それから2点目は、放課後子供教室を掲げてありますけれども、これは小学生中学生あたりのところかと思えます。実際に中学から高校への高校受験とか、そういったところで、経済的な余裕があるうちでは、塾に通ったりできますけれども、そういうことがままならない家庭に関して、国内で他のところで例えば塾に替わるような何か、そういう場を設けてということがあります。そういったことについても、何か方策はないものかどうか、それが2点目です。</p> <p>それから三つ目は、生活の支援に関するところです。医療の支援、医療費の</p>

	<p>支援です。これは茅野市においても小中学生に関する段階はあると思うが、高校生段階の医療費の支援。これの拡充ということが実現できないものかどうかという以上の3点です。</p> <p>可能な部分がありましたら、ご配慮いただければと思いますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ありがとうございました。学校教育課です。</p> <p>小中学生の遠距離通学の通学費の補助ですが、義務教育である小学校・中学校は学校設置者が、学校を設置するにあたって、国から遠距離になる3キロ以上のもので、補助が出るという考えのことは行っています。ですので、今のこの補助金の制度とはまた別に、高校生を対象とするような、何か支援ができればとは思いますが、この中で対応するという事は、考え方が違いますので、必要に応じて対応したいと考えています。</p>
<p>健康福祉部長</p>	<p>子ども、児童の医療費の関係でございます。健康福祉部でございますが、18歳までへの現物給付に関しましては、今研究をさせていただいております。財源的なところ等々もございまして、今研究中というところでご理解いただければと思っております。</p>
<p>こども課長</p>	<p>事業2：放課後子供教室に関わることで、中学・高校生、中学から高校の受験の学習支援のことです。現状といたしましては、こども課として、子ども食堂に補助金を出しているわけですが、そこで各団体をお願いしていることが、まず、「学習支援をして欲しい」ということ。その他、相談支援ということも挙げてございます。そういったところで、大分、各子ども食堂で、東京理科大学の学生さんや、また夏休み等で地元に戻ってきた大学生の方が、ボランティア的な形で学習支援をいただいているというお話をいただいております。今後についてですけれども、そういった子ども食堂について団体が徐々に増えてきているようなところもありますので、そこを広げていくということ。あとは、今、学習支援ということが非常に叫ばれているところですので、そういった新規事業ということ。放課後子供教室は、学習支援だけではないのですが、あらゆる機会ですといったことができないかということ、現時点ではこれをやるというお答えはできないのですが、検討していきたいと考えております。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>その34ページの事業2：放課後子供教室の実施に向けた検討のところを、さらにご質問させていただくのですが。</p> <p>ここでは、学童クラブとそれから地区こども館、どちらも書いてあって、そこにおいて多様な体験プログラム、スポーツ活動及び学習支援というふうには書いてあるのですよね。この地区こども館と学童クラブは、そもそも全然目的が違うじゃないですか。そこを一緒にして、放課後子供教室の実施というふうには書かれてしまうと。本来のなんというか、子どもの居場所ではあるのですが、こども館と学童クラブって、よく議論になってきたのですが、その境はなくて一緒にしてしまうの？というようなイメージが少しあるのです。どういうふうに、実施しようとしているのか、もう少しイメージをお話いただくといいかと。何かそこに混同が生まれそうな気がするのですが、いかがでございますか。</p>
<p>こども課長</p>	<p>他の地域、市町村と比べまして茅野市の特徴というのは学童クラブ以外に、子どもの居場所「本のある屋根つきの公園」ということで地区こども館が、各地</p>

	<p>区に立ち上がっているわけです。イメージとしては、地区こども館と学童クラブ、それぞれのお子さんが、それぞれの場所に行く前に、今日はここで放課後子供教室を行っているので、そちらに参加して、学童クラブに戻るなり、地区こども館に戻る、あるいは地区こども館に行かずに、帰宅するというような形を抱えています。どちらの児童も立ち寄れる場所というところですね。国の考えとしましても、例えば、空き教室に学童クラブを作ることを最近国もだんだんと推奨してきています。空き教室を使って、学童クラブの子も、学童クラブに所属しない子も、自分のしている体験学習やそういったことに参加できる取り組みをしましょうということを提案してきておりますので、どちらのお子さんも行けるというイメージを抱いていただければいいのかと。ただ、そのためには、やはりそこをコーディネートする方が必要で、例えば国でもこういった放課後子供教室の方に補助金を出しているわけですが、国が補助金を出す条件があるので、そこをまずは整備していかなければいけないということになります。ですので、全部に放課後子供教室を、最初から置くことが難しい、スタートを切るのが難しいと思いますので、考え方としては、まずどこか一つで試行して、検討しながら、いろんな地区に、放課後子供教室というものを、開催していくというふうを広げられればいいと考えております。</p>
委員	<p>今、課長のお話だと、逆にこの地区こども館及び学童クラブにおいてという言葉はあまりいらぬような気がしてしまうのですが。いわゆる学校の空き教室を活用してというような、場所としてはそういうことなのですね。</p>
こども課長	<p>場所は学校でなくても、例えば茅野市にあるコミュニティセンターを利用して。場所は特に学校でなければいけないということはないです。</p>
委員	<p>わかりました。その辺は、自由なのですね。自由というか、いろいろなプログラムに応じて、いろんな場所を活用しましょうということですね。わかりました。ありがとうございます。</p>
こども課長	<p>その他ご意見、質問等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>10ページの(10)高等学校卒業後の状況の推移です。就職される方が16.1%というのはわかったのですが、例えば1年以内に仕事を辞めてしまう人や、転職される方の把握をされているのかということ。転職、仕事を辞めてしまうことを、なるべく防ぐために何か、高校と連携をとっているなど、市のほうでサポートがあるのかが、気になりました。</p> <p>もう一つが、33ページの相談・支援体制の充実と関係機関へのつながりの強化というところ。障害者生活就労支援センターの“すわーくらいふ”さんが関係機関に入るといいと思いました。</p> <p>もう一つが、茅野市では学生の方で、もしお子さんを産んで育てている方がいる場合に、若い方に対する、何かサポートや支援があるのかというのが気になりました。</p> <p>もう一つはそれに関連して、性教育というか、家族計画、しっかり自立してから、子どもを産み育てることがいいのかわからないですが、そういった性教育についての取り組みのようなものも、この貧困対策に入るといいと思います。以上です。</p>
こども課長	<p>ありがとうございます。最初の10ページの推移で、高校卒業後の進学等や</p>

<p>地域福祉課長</p>	<p>進路先ということ。仕事を辞めてしまう方、また転職をするような方についての把握があるか、ということによろしいですか。それについて、市として情報は入って来ない状況です。その辺の把握ができていない状況になっています。市としては、小中学校が義務教育なので、その間に関わっている方の情報は引き続き、高校に行っても、また成人されても、繋がってサービスセンター等で相談支援等を行っています。そういう方については、その後どうなったかということが把握できています。前回にも質問があり、ご説明させていただいたかと思うのですが、小中学校までに関わりのなかったご家庭については、高校へ進学された後の、不登校や、学校をやめてしまうというような情報がなかなか入ってこない状況です。ですので、今ご質問いただいたように、課題であると感じております。</p> <p>それでは、先ほど障害者の関係の事業所について、地域福祉課からお答えします。確かに全くゼロではないということを確認しておりますので、この表の中で入れ込めるかどうか、検討させていただきます。ありがとうございます。</p>
<p>こども課長</p>	<p>三つ目の、大卒で就職されて、すでにお子さんがいるというご家庭について、市としてどのようなサポートができるのかというところですが、こども課の中に、“育ちあいちの”という、子ども・家庭総合支援拠点で、そのような窓口を設けさせていただいております。例えば、「十代で妊娠をしてしまった」また、妊娠をしたけれども、出産にあたって経済的に苦しいという妊婦さんにつきまして、特定妊婦ということで、把握いたしまして、そういう方について、出産前から支援をしていくという体制は整っております。ですから、周りにそういった方で困っている方、妊娠をしたけれどもこれから出産について、不安を抱えている方がいらっしゃいましたら、“育ちあいちの”の方につなげていただければ、母子保健の方と連携しながら相談・支援に入ることができますので、ぜひつなげていただければと思います。</p> <p>また性教育の取り組みというところで、小学校・中学校の授業の中に、そういった取り組みもしているところでもありますけれど、ご意見いただきましたので、そういうところにも目を向けてまいりたいと考えます。どうもありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。はい。お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>以前の会議の時に、確か素案の関係でご意見をお寄せくださいというふうになったので、私もメールで送らせていただきました。多分、その皆さんの多くのご意見の中でこういったものが作られたのだと思うのですが、個別というか、私が送ったことに対して、どういうふうに対応されているのかというのが。もしかしたら、反映されているかもしれないのですけれど。私がまだすべてを読み込みできてないので、わからないのですが、こういった意見の中で、対応をこういう風にすると明記されるとわかりやすいのでは、というのが一つあります。</p> <p>また、いただいた資料の中に、前回の資料の中で個別の回答を控えさせていただきますという部分があるので、もし私の意見が突拍子もないことであれば今後修正していきたいので、そういった部分も含めて、この場ではなくてもいいですし、私だけでもいいのでどういうふうに対応されたかのかがわかれば、私も持ち帰ることができるので、検討していただければ助かります。</p>
<p>こども課長</p>	<p>ありがとうございます。メールでいただいたことを私も拝見いたしまして、こちらについても検討させていただきます。最初の説明で抜けていたことが大</p>

	<p>変失礼いたしました。こちらについて、これからの対策案ですけれども、ファミリーサポートセンター事業ということで、こども課の方で行っております。ページにしますと36ページ事業16:ファミリーサポートセンター事業です。子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方が、会員となって双方で、マッチングを行い、子育てについての助け合いを行う事業になります。こちらの方で、最近、送迎という部分でご依頼をいただくことが非常に多くなっています。こういった事業がまだまだ周知されてないのではというふうに思いましたので、こちらでもまず、周知をしていきたいと考えます。</p> <p>それと、今年度になって、“のらぎあ”というオンデマンド交通が実施されているわけですが、その辺を子育て世帯に使いやすくするような検討をですね。また学生さん等の割引、高齢者の方の割引というのは、示されていますが、そういった経済的に負担ができないような方むけに、使いやすくなるようなことも、担当の課に話をしながら検討していきたい。また、独自にタクシー会社と、連携ができないのかということも検討したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。すみません。最初に説明が抜けていました。</p> <p>はい。今、少し補足があります。“のらぎあ”についてですが、中学生まで半額になったそうなので、そういったことも広く周知していきたいと思えます。(半額については)決定になっているところで、実施についてはこれからになりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>その他ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。いろいろ今ご意見をいただいたこと、また、計画が1月の末には決定ということになります。今後パブリックコメントをして、いただいた意見と今日のご意見を、できるだけ反映できるような計画にしたいと思えますので、よろしく願いいたします。</p> <p>いろいろなご意見どうもありがとうございました。</p> <p>ただいま、教育長の方が、前の会議から戻りましたので、ここで一言ご挨拶をちょうだいしたいと思います。</p>
教育長	<p>遅れて参加して、本当に申し訳ありません。前の会議があったわけですが、時間より遅れていて、こちらの大切な会議の方に遅れてしまいました。十分話し合い、私の方で遅れてきたので聞いていませんが、また後程聞いて、1月に向かってしっかり、計画を立ててまいりたいと思えますので、よろしく願いします。</p>
こども課長	<p>(3)第3次茅野市こども・家庭応援計画(どんぐりプラン)の見直しについて 資料3に基づいて見直しの方向性、検討事項、実施体制について説明した後、資料4に基づいてどんぐりプランの歩みを説明した。 最後に、第3次どんぐりプランについて、どんぐりプラン冊子及び抜粋資料を用いて説明した。</p> <p>今、(3)ということで、こちらの間見直しについてということで、最初の方で説明させていただきましたが、これにつきまして何かご意見等ありましたら出していただければと思います。よろしく願いします。</p>
委員	<p>(中間見直しの実施体制について、こども・家庭応援会議内に設置される)どんぐりプラン見直し専門委員会は、例えば私は多分3月までが任期なのですが、そこまでにあるのですか、それより後にあるのですか。</p>
こども課長	<p>4月以降の委員会設置になりますので、1年で交代になる委員については、</p>

<p>委員</p> <p>こども課長</p>	<p>後任の方が選考対象となります。</p> <p>次の(保育所保護者会)連合会の評議員の方がなるということですか。</p> <p>そうですね。一応今、ご出席いただいている委員の方から数名の方に、見直し専門委員会として、検討委員ということで、ご参加いただくようになっています。そちらの選考についてはまた、この会議で検討させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>本日の中間見直し案については、あくまでもたたき台として、ご検討いただくものですので、もし今後感じる事等がありましたら後日でも結構ですのでご意見をお寄せください。メール、またお電話等でご連絡いただければと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。はい。いろいろとご意見ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。ありがとうございます。それでは会議次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、4その他ということで事務局の方からお願いをいたします。次回の会議を、1月末に開催をしたいと思っております。日程が決まり次第のご連絡をさせていただきますのでお願いをいたします。</p> <p>事務局の方からは以上となりますけれども、ご出席の委員さんの方からもし何かありましたら、ここでお願いをいたします。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和4年度第2回茅野市こども・家庭応援会議を閉会とさせていただきます。</p> <p>本日はお疲れ様でした。</p>